



神戸国際大学

キリスト教センター通信

2023年4月4日 第84号

## 大学生は自由だ！

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

大学生と高校生で違う点は何かと問うと、ほぼ例外なく「高校生の時間割は決められているが大学生は自分で自由に授業を選択する」「大学生は授業に出ても出なくても自由だけど(!?) 責任が伴う」という答えが返ってきます。「出なくても自由」というのは必ずしも正しいとはいえませんが、「責任が伴う」はその通りです。

私たちが使っている「自由」とは自分の意思で振舞える、何ものにも強制・拘束されない、他人の影響を受けずに行動するという意味です。高等学校の社会科学の授業で学んだり、大学の哲学や政治学・憲法学で学んだりするように、自由には「…からの（消極的な）自由」と「…への（積極的な）自由」があり、前者は「強制や束縛を受けることなく思う通りに振舞う」、後者は「自由な意思に基づいて選択や決断する」とされています。

みなさんは「…からの自由」といえば、何を思い浮かべるでしょうか。例えば、大学には学則という規則がありますが、高等学校が髪型まで定めるような理不尽な校則はありません。一人暮らしを始めると門限も親からの干渉もありません。これらは「…からの自由」の典型です。

これに対し「…への自由」は自分の意志で積極的に決断・選択することです。成年になると親の承諾なしに商品やサービスを選んで自分で契約できる、選挙で自分の生活や将来の社会のために仕事をする政党や候補者に投票できるなど、政治・経済や法律をはじめ周囲の環境と積極的に関わって自己実現と社会貢献を果たす重要な自由です。

他にも、思想の自由・宗教の自由・表現の自由・学問の自由などは、真理や正義を求める民主的で健全な社会の根幹です。他人を害さないなど内在的制約はあるものの、さまざまなことについて自由に学び、自由に意見を交わし、議論や研究の結果を広く発表することは、社会参加・政治参加の第一歩でもあります。

また、労働の自由・経済の自由は、個人が好きな仕事に就く、財産を増やすだけでなく、力強い社会の基盤でもあります。民間企業だけでなく、医療・福祉や教育など営利目的ではない仕事も社会を構成しています。社会の礎となる経済は正しい事業によって成長し、基本的人権としての労働の自由を尊重することは働く者の意欲と仕事の効率を高め、よって産業活動を通じて自己実現を促します。経済的な発展は、国家のため、会社のためだけでなく、車の両輪のように働く人々とそれを支える家族をはじめ社会があって成り立つことを忘れてはなりません。

勉強はしんどいけれど、自分の意思で選んだのだったら、大学生のあなたは自由です。

### ひとくちメモ - 真理と自由 -

31: イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。32: あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」  
(ヨハネによる福音書: 8章31-32節)

「真理を知り自由になる」は、真理=教えによって自らを律することを知ると、人は自由になるということ、教えに従い自らの意思で自分自身をコントロールすることです。自由で制約を受けないと好き勝手にしたくなりますが「美味しいものを食べたい」「いつまでもゲームで遊んでいたい」「何がなんでも一番になる」というのも欲望に囚われていると考えられます。よくある人間の欲求なのかもしれませんが…。

自分のためだけでなく、仕事やボランティア活動を通して「人に仕える」ことを考えるのも「自由になる」ための生きかたのひとつかも知れません。



侵攻から1年を過ぎても終結は見えません。

また、その他の地域にも紛争や災害に苦しむ人びとが多くいることを忘れずに祈りましょう。

## ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、  
み旨に合う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な

子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

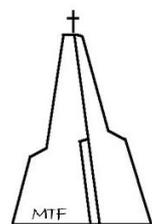
ジャスティン・ウェルビー大主教  
スティーブン・コットレル大主教



## A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,  
we pray for the people of Ukraine today.  
We pray for peace and the laying down of weapons.  
We pray for all those who fear for tomorrow,  
that your Spirit of comfort would draw near to them.  
We pray for those with power over war or peace,  
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.  
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,  
that you would hold and protect them.  
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.  
Amen.

Archbishop Justin Welby  
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU\_MTF

神戸国際大学キリスト教センター